

ボルネオジャングル体験スクール、始動！

生徒募集

単なる体験ではないゾ！

第11回目を迎えるボルネオジャングル体験スクールが平成21年7月末～8月始めにかけて開催されます。博物館の研究者4名や生物学の研究者、現地の高校生も同行。本物のジャングルでの生活は子ども達に地球の大きさの夢を与えます。

今回も第10回同様、ジャングルでのアクティビティ満載。小学校6年生から高校3年生までの児童生徒なら誰でも応募可能（県内外問わず）。ただし、選考会や2回の事前学習会（日曜日開催）に参加可能であること。

募集時期等の詳細は生涯学習課までお問い合わせください。



初夏の鳴く虫と巡回展

ぎっちゃん君、参上！

2階企画展示室/4階ひとはくサロン

2009.6.6～8.31



○こんにちは、キリギリスさん。「ぎっちゃん君」って、あなたのことですか。

●はい、鳴く虫研究会「きんひばり」の人がつけてくれました。まだ、卵ですけど、夏までには成虫になりますよ。

○キリギリスの巨大な模型をつくるそうですね。

●はい、「きんひばり」の人たちが準備したパーツをみんなで組み立てるオープンセミナー(5/23)があるんです。そのほか、「キリギリスの赤ちゃんを育てよう(4/19, 5/17, 6/6)」とか、「初夏(6/13)と夏(8/22)の鳴く虫観察会」とか、楽しいイベントはたくさんあります。くわしくは、「ひとはく手帖2009」を見てくださね。



ふぁーぶる君のつぎはボクさ

(大谷 剛：自然・環境マネジメント研究部)

北摂里山検定を実施しました！



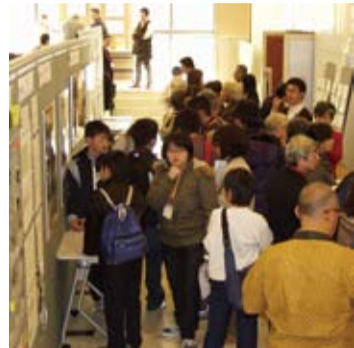
上/北摂の里山を特徴づける台場クヌギ
中/北摂の伝統的な里山の景観
下/検定に先立って行った北摂里山講座

1月11日(日)に、「北摂里山検定」を人と自然の博物館で実施しました。主催は当館と阪神北県民局です。兵庫県と大阪府にまたがる北摂地域には、日本一と言われる伝統的里山と先進的里山の両者が広がっています。今回の検定は、同地域の里山に関する知識と理解を深めてもらい、その成果を里山の保全・復元に活かしてもらうことを目的としています。問題は50問で、20問以上正解すると合格です。合格者は、正解数に応じて特級、一級、二級の認定証が授与されます。

当日は137名もの方々が来館され、多くの難問と格闘されました。都合が悪く受検できなかった4名の方々には、希望により追試を行いました。採点の結果、なんと、すべての方が合格でした。このうち、特級は31名、一級は79名、二級は31名でした。平均点は39点(満点50点)と非常に高く、中には満点をとられた方(1名!)もおられました。合格された皆さんが、里山の保全・復元の担い手として、今後さらに活躍されることを願っています。

(石田 弘明：自然・環境再生研究部)

共生のひろば開催。



2月11日(水・祝)に開催いたしました共生のひろば。発表者・共同発表者、聴講者をあわせて300名(!)が集まり、19件の口頭発表に耳を傾けるとともに、27件のポスターと作品の前で楽しい情報交流が行われました。

どの発表・作品からも研究対象や活動に対する強い思いが伝わる素敵な内容で、発表者、聴講者ともに多くの刺激を受けておられました。特に今回は小・中・高校生、大学生と若い発表者が昨年よりも多く、地域の自然・環境・文化をみつめる次世代のまなざしを頼もしく感じられた方も多かったように思います。

発表会の終了後に行われた茶話会には約120名が集まり、会場ではなかなか質問できなかったこと、発言できなかったことをお茶とお菓子を前にリラックスした雰囲気でお話することができました。特に、聴講者から発表者へメッセージカードを贈るという今年度初めての試みでは、内容を読み上げる度に会場が沸き上がり、笑顔であふれました。メッセージを受け取った発表者は「コメントがいただけるのはとても励みになる」と喜んでおられました。

茶話会の終盤では、各種賞の授賞式が行われ、甲乙のつけがたい発表が多い中、下記の発表が表彰されました。

共生のひろば発表会は1日で終了ですが、当日発表されたポスター・作品の一部は2月15日から当館2階の企画展示室で展示されています(これも今年度の新しい試みです!)。4月5日まで開催されていますので、ご興味のある方は是非お問い合わせの上、ご来館ください。平成21年度も、活気のある「共生のひろば」の開催を目指していますので、ご期待ください!

(橋本佳延：自然・環境再生研究部)

受賞おめでとうですね!

館長賞：「特に優れた発表」に対して授与される賞。

- OP-02 マーキング調査で得られたミヤマアカネの周年経過と行動に関する知見 横田 靖 (「あかねちゃんクラブ」「池田・人と自然の会」)
- OP-14 さんぽは自然体験のはじまり! 西浦睦子・鈴木久代 (ひとはく連携活動グループ NPO法人さんぽくらぶ)
- PP-11 ハヤブサの落とし物 (Part4) 溝田浩美 (ひとはく地域研究員)
- PP-14 課題研究報告「森から学ぶ〜六甲山系のキノコたち」 藤井日菜子・濱田 諒・稲垣恵理・梅田侑希 ほか第2学年20名 教諭 河合祐介・上林 泰 (兵庫県立御影高等学校)

名誉館長賞：「ユニークな発表」に対して授与される賞

- OP-07 ソーラーパネルと小型ポンプを用いた簡易魚道の設置〜安価で簡便な自然再生の方法〜 久加朋子・大澤剛士・石田裕子・佐々木宏展・前田知己・清水洋平 (ひとはく連携活動グループ 水辺のフィールドミュージアム研究会)
- OP-16 「恐竜発掘ケーキをつくろう!〜お菓子を通じた学習プログラムの可能性を探る〜」 有田寛之・高橋みどり (国立科学博物館)・佐藤大樹・川本麻代・小島綾子・古杉理沙子・鮫島裕子・古満れんげ (兵庫県立三田祥雲館高等学校)・辰巳萌佑子・三浦理紗 (大阪教育大学附属池田中学校)・松浦孝一 (ル・パティシエ・プチ・ムッシュ)
- PP-01 鳴く虫ワールド2008 ひとはく連携活動グループ 鳴く虫研究会「きんひばり」
- PP-03 ミヤマアカネを卵から観察「血統書付き!あかねちゃん誕生」 浅倉景子 (ひとはく連携活動グループ あかねちゃんクラブ)

審査員特別賞：「データ量や活動量など努力量の多い内容や継続的な活動」に対し授与される賞

- OP-05 コンクリートの川にホテルを増やそう〜池尻川ホテル再生計画〜 山下 駿・野澤真崇・坊 沙織・山本貴之・和田彬宏・佐藤飛鳥・土居恭子 (兵庫県立有馬高等学校 科学部)
- OP-11 PP-25 スクール ジーンファーム 地域の絶滅危惧種の保全と増殖 朴木彩乃・森元敏郎・顧問 田村 統 (兵庫県立大学附属高等学校 自然科学部 生物班)
- PP-22 木の実・草の実・野菜の種大集合 井上富雄・中島得三 (NPO法人 人と自然の会 植物観察会)

注目大賞：会場から多くのメッセージを得た発表に対する賞

- OP-05 コンクリートの川にホテルを増やそう〜池尻川ホテル再生計画〜 山下 駿・野澤真崇・坊 沙織・山本貴之・和田彬宏・佐藤飛鳥・土居恭子 (兵庫県立有馬高等学校 科学部)
- PP-11 ハヤブサの落とし物 (Part4) 溝田浩美 (ひとはく地域研究員)
- PP-22 木の実・草の実・野菜の種大集合 井上富雄・中島得三 (NPO法人 人と自然の会 植物観察会)

おもしろ科学の実験と工作が満載!



科学実験や科学工作の36ものブースがひとはくに集結!

2月15日(日)、ひとはくサイエンスショーが開催されました。

今年は、県内の学校の先生方や科学部、生物部などの生徒、企業の方、有志の方、人と自然の会の方などが出展。

幼児向けのテーマから、高度な内容のものまで趣向を凝らしたテーマを多彩に展開。

小さなお子様とともにお父さんやお母さんが思わず引き込まれてしまうような光景も見られました。

(春名潤一：生涯学習課)

編集後記

ひとはくの情報誌、ハーモニーが大きなサイズのひとはく新聞になって、満2歳になりました。みなさんから応援があったからこそ、ここまで出来たのだと感謝しております。ひとはく新聞は、これからも、成長、変化し続けていきます。

(小林 美樹：生涯学習課)

ひとはく新聞 2009 | 3 | 14号
(平成21年3月14日号)

発行：兵庫県立人と自然の博物館
〒669-1546

兵庫県三田市弥生が丘6丁目
電話：079-559-2001 (代表)

発行日：2009年3月14日
(平成21年3月14日)

編集：【広報・出版支援担当】
鈴木武・古谷裕・三谷雅純
赤澤宏樹・山崎義人

【生涯学習課】

平松紳一・春名潤一・矢野啓司

編集長：小林 美樹

印刷：ウニスガ印刷(株)